

法人本部

企画課管理用 管 ー B ー 1

推進主体	総合企画部企画課
責任者	総合企画部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	ー	B	学習院アイデンティティの涵養と発信によるブランドの向上	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

本院は幼稚園から大学までを擁する総合学園であり、各学校に共通する教育目標を持ちながら、それぞれ特色のある教育・研究を行っている。しかしながら、各学校とも確固たるブランドイメージがあるとは言えず、ステークホルダーの認識もさまざまである。

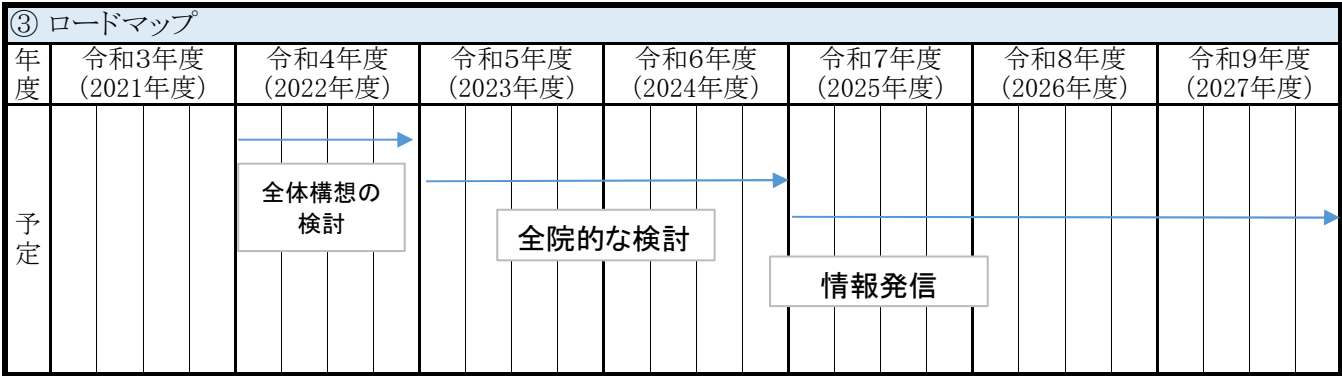
令和9(2027)年に創立150周年を迎えるに当たって、次なる200周年に向けた姿を描く必要があり、社会やステークホルダーに対してどのような使命感をもち、どのような価値を提供していくのか。歴史、伝統、未来という視点を踏まえ、学習院の独自性や優位性をどのように育み、高めていくのか、各学校の垣根を越えて議論する場を設ける。

また、関係各部署と連携して、各学校の方針を具体的な取組みとともに見える形で内外に発信することにより、組織としてのアイデンティティを涵養し、意図をもってブランドイメージの浸透を図る。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

① 各学校の教育方針や特色を明確にする。

② ①を具体的な取組みとともに分かりやすく発信する体制を構築する。



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	全院的な検討を始めるために、各学校の教育方針や特色、学習院の歴史・伝統・人材育成などに関する基礎的な資料を作成する。 また、情報発信をするための流れや内容・方法などを検討する。	基礎資料の収集と並行して、ブランディング計画の具体的な構想について検討し、各会議体での承認を得た。 内容としては、まず学習院のパーパス(存在意義)を策定し、それをベースとして各学校の特長や方針を確認のうえ、インナーブランディングやアウトナーブランディングを展開するほか、次期将来計画(令和10年度開始)の施策検討に繋げることを想定している。 これに当たり、次年度に中期計画推進予算で計画を申請したうえで、令和6年度からの検討開始を予定している。
令和5年度 (2023年度)	令和6年度からの実施に向けて、 ・中期計画推進予算の申請 ・業者選定 ・具体的な進め方の決定・周知 を行う。	・提案依頼に対して、提案書の提出があった5社から業者選定を行い、(株)電通東日本を選定した。 ・令和6年度の予算を中期計画推進予算で申請して承認を得た。 ・具体的な検討の進め方について、各会議体へ上程し報告するとともに、次年度の検討に当たって構成員のスケジュール調整を行った。
令和6年度 (2024年度)	初年度は、ブランディング検討部会において、本院のパーパス・バリューズを検討し院内の各会議体へ上程して承認を得ることを目指す。	今年度はパーパスの素案を作成し、院内での意見聴取を行った。このあと、意見を踏まえた見直しを行い、最終的な検討結果を各会議体へ上程する予定である。
令和7年度 (2025年度)	前年度の検討内容を踏まえつつ、学校単位で教育方針や特色を再確認するほか、今後の課題やすべきことを洗い出す。	パーパスについては、前年度の意見聴取結果を踏まえて再検討し、仮案として策定した。 並行して、幼稚園及び初等科でワーキンググループを発足し、それぞれの今後に向けた方針や改革方針を検討した。これらを踏まえて、令和10年度からの次期中期計画の施策を立案し、特色の強化を図る。
令和8年度 (2026年度)	中等科・高等科、女子中・高等科にてワーキンググループを発足し、昨年度と同様に検討を行う。	